

(第2号様式) (用紙日本工業規格A3横長型)

神奈川県教育委員会教育長 殿

提出日：平成 30 年 4 月 日

学校名：県立大和西高等学校

平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	① 共通教科・科目を中心に、グローバル社会を生き抜くために必要な資質・能力を育成し、新学習指導要領に対応できる教育課程を編成する。 ② 思考力・判断力・表現力の育成など「学力の3要素」を取り入れた授業改善に組織的に取り組む。	① グローバル人材の育成と進路実現に向けて策定した教育課程を、適切に運用する。 ② グローバル人材育成のための指導計画を各教科で位置付け、基礎的な知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養を目指した授業改善を進める。	① 新たな教育課程策定の意義・目的を踏まえ、その達成に向けて、生徒・保護者の理解を進めながら、すべての教職員が実践に取り組む。 ② 主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善に取り組む。また、生徒の国際理解の一層の深化を図るための教育活動を進める。	① 新たな教育課程の意義・目的が年間指導計画等に位置付けられた上で、すべての教育活動が適切に実施されているか。 ② 生徒による授業評価やグローバル教育アンケートにおいて、授業に意欲的に取り組み、生徒自身が活動する授業がなされたかに対するポイントが高かったか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	① 基本的な生活習慣を確立し、生徒の規範意識の向上を図る。 ② 部活動と学習の両立を目指し、部活動の入部率をさらに高める。	① 交通安全の推進について、保護者にも一層の理解を求め、協働した取組を進める。 ② 部活動の活性化に向け、活動環境を向上させる。	① 通学中の事故防止や交通マナーの向上に向けた啓発を保護者やHR活動を通して推進する。 ② 部活動の全体的な推進を期して、活動環境の整備に取り組む。	① 通学中の事故や住民からの苦情件数が減少したか。 ② 生徒の部活動に対する満足度が向上したか。					
3 進路指導・支援	① 3年間を見通したきめ細やかなキャリアガイダンスにより、生徒一人ひとりの多様な職業観を育成する。 ② 希望する上級学校への進路を、生徒全員が実現する。	① 将来の国際社会の担い手として成長できるよう、生徒一人ひとりへのキャリアガイダンスを充実させ、希望する進路を実現させる。	① 総合学習や進路説明会、進路通信など生徒・保護者に向けた情報発信を充実させる。 ② 生徒へのサポート体制を整え、学校での自学自習時間を増やす。	① 生徒アンケートにおいて「キャリア教育を受けた事で成長できた。」や「夢や希望を持った。」生徒の割合が70%を越えたか。 ② 学校で自ら主体的に学習する生徒が増えたか。					

4	地域等との協働	<p>① 近隣の学校や自治会と防災や行事における連携を深め、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりを進める。</p> <p>② P T Aや同窓会との連携を密にし、外部人材や教育力の活用を進める。</p>	<p>① 近隣の学校や自治会と連携した行事や防災訓練を実施し、連携を深める。</p> <p>② P T Aや同窓会との連携を深め、開かれた学校づくりに努めるとともに、地域の教育資源を活用した教育活動の推進に取り組む。</p>	<p>① 自治会等と連携した防災訓練を通じて、学校防災体制の推進を図るとともに、地域と連携した行事等の実践により、学校と地域との連携の強化を図る。</p> <p>② P T Aと連携し、地域等の人材を活用した教育活動に取り組むとともに、同窓会による部活サポート等を実現させる。</p>	<p>① 自治会等、地域と連携した防災訓練を実施したことにより、本校の防災体制が向上したと感じる生徒や保護者、職員の割合が増加したか。</p> <p>② P T Aや同窓会との連携が深まったと感じる生徒や職員、それぞれの関係者の割合が増加したか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>① 本校での課題について職員全体で積極的に取り組み、協働して課題解決に取り組む。</p> <p>② 事故防止に対する意識を高く持ち、職員が連携して事故を防ぐ体制を整える事故・不祥事0を達成する。</p>	<p>① 校内の働き方改革を進め、校務遂行の環境整備を推進するとともに、職員の健康増進に努める。</p> <p>②職員間で連携して事故防止に努める環境を構築する。</p>	<p>① 業務アシスタントを効果的に活用するとともに、ワークシェアを意識した業務分担に努める。</p> <p>② 事故防止会議を多くの職員で分担し、事故の防止に向けた意識を高める。</p>	<p>① 職員アンケートにおいて「働きやすい職場である。」と感じる職員が増加したか。</p> <p>②事故・不祥事0を達成できたか。</p>					